



2026年2月13日

各位

会社名 **株式会社 イチケン**
代表者名 代表取締役社長 長谷川 博之
(コード番号 1847 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 高垣 健太郎
(TEL. 03-5931-5642)

2026年3月期通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2025年10月31日に公表しました2026年3月期通期業績予想並びに配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年10月31日発表)	百万円 101,000	百万円 6,700	百万円 6,600	百万円 4,400	円 銭 606.16
今回修正予想 (B)	105,000	8,200	8,100	5,500	757.70
増減額 (B-A)	4,000	1,500	1,500	1,100	
増減率 (%)	4.0	22.4	22.7	25.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	98,999	6,835	6,769	4,679	644.67

※前期実績につきましては、企業結合に係る暫定的な処理の確定に伴い、見直しが反映された後の金額となっております。

(参考)

2026年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年10月31日発表)	百万円 98,000	百万円 6,200	百万円 4,300	円 銭 592.38
今回修正予想 (B)	101,000	7,600	5,300	730.15
増減額 (B-A)	3,000	1,400	1,000	
増減率 (%)	3.1	22.6	23.3	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	96,448	6,677	4,687	645.76

2. 通期業績予想修正の理由

売上高につきましては、受注高が増加していることや工事が順調に進捗していることから、前回予想を上回る見込みであります。

各利益につきましては、生産性・採算性を重視した受注に取り組んでいること、また資材価格や労務費の転嫁が進んだことによる工事採算性の改善により、完成工事総利益が予想よりも増加していることなどから、営業利益、経常利益及び当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見込みであります。

3. 配当予想の修正

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2025 年 10 月 31 日発表)	—	120 円 00 銭 (普通配当 120 円 00 銭)	185 円 00 銭 (普通配当 185 円 00 銭)
今 回 修 正 予 想	—	<u>165 円 00 銭</u> (普通配当 165 円 00 銭)	<u>230 円 00 銭</u> (普通配当 230 円 00 銭)
当 期 実 績	65 円 00 銭 (普通配当 65 円 00 銭)	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	50 円 00 銭 (普通配当 50 円 00 銭)	90 円 00 銭 (普通配当 80 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)	140 円 00 銭 (普通配当 130 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)

4. 配当予想修正の理由

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

2026年3月期期末の1株当たりの配当予想につきましては、今回の業績予想修正並びに今後の動向等を総合的に勘案し、前回予想から45円の増配をいたします。

これにより、期末では165円、中間配当と併せて年間合計230円とする配当予想へ修正をいたします。

5. その他

当社は、2026年1月28日付「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」にて、2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であることの公表をしておりますが、2026年3月期期末配当金は、当該株式分割前の株式数を基準とした配当金となります。

(注) 上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上